

NHKスペシャル

シリーズ デジタル VS リアル

岐路に立つ世界



私たちが信じるリアル。それ、ホントに“リアル”！？SNSの投稿動画や検索履歴に残された個人情報、そして監視カメラの映像…今、デジタル世界に積み上げられていく膨大なデータが現実世界の私たちの行動に大きな影響を及ぼそうとしている。テクノロジーの進化で生まれる新たな時代を見つめる新シリーズ「デジタルVSリアル 岐路に立つ世界」。“シリーズアイコン”としてインスタグラムで大人気、渡辺直美さんが登場！



第1回 フェイクウォーズ

2020年3月22日(日)午後9:00~9:49(総合テレビ)

第1回は、氾濫するウソの情報＝「フェイク」との闘い。ある日、覚えのない自らのポルノ動画がネット上に拡散していることに気づいた女性。今、映像データを元にAIが作成する「フェイクポルノ」の被害が多発。

“個人の尊厳”を傷つける実態とその対策とは？一方、イギリスの企業にかかってきた親会社のCEOからの一本の電話。実はこれも声を似せたフェイク音声。指示のままに金を振り込み、被害にあう…“経済活動”にも混乱が。そして、今、フェイクが狙うのは“民主主義”の根幹「選挙」。私たちは今年行われた台湾の総統選に注目し、有権者を誘導しようとするフェイクニュースと日々格闘する公共メディアを取材。世論誘導ビジネスの最前線メキシコの潜入取材もまじえ、その攻防にカメラが密着。信じたい情報が信じられ“真実”が揺らぐ時代、私たちに何ができるのか？

第2回 デジタル世界のもう一人の“私”

2020年3月28日(土)午後9:00~9:49(総合テレビ)

就職情報サイト「リクナビ」が、登録した就活生のデータをAIで解析、“内定辞退率”を企業に販売していたことが大きな問題となった。今や生活に欠かせないネット検索、アプリで利用する地図、スケジュール、買い物、SNS…入力されるデータを分析すれば、その人の住所、職業、家族構成、交友関係、趣味、嗜（し）好などが明らかになり、プライバシーや人に知られたくない秘密まで、明らかにすることができると言われている。データによって描き出される、もう一人の“私”「デジタル・ツイン」だ。IT企業は、この「デジタル・ツイン」を使って個人の行動を予測し、好みに合わせた便利なサービスを展開しようとしている。一方その取り扱いによっては、思想信条や信仰の把握や監視、さらに、お勧め動画や記事を繰り返し送ることによる個人の行動のコントロールにつながりかねない危うさもはらんでいる。こうした懸念が顕在化した現場を、アメリカ、中国などで取材、デジタル世界のもう一人の“私”とどう付き合うかを考える。